

旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画書

平成29年3月

伊勢崎市教育委員会

目 次

| | ページ |
|------------------------------------|-----|
| 1. はじめに | 1 |
| 2. 境島村及び平塚区（利根川南部）の概要 | 3 |
| 3. 旧境島小学校校舎の概要 | 6 |
| 4. 旧境島小学校校舎の有効活用の基本的な考え方 | 8 |
| 5. 旧境島小学校校舎の有効活用の方向性 | 11 |

【資料編】

（1）旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査結果報告書

（2）旧境島小学校校舎の有効活用に関する意見募集結果

（3）伊勢崎市境島村のまちづくりに関する効果検証モニター調査・ワークショップ記録

（4）伊勢崎市境島村まちづくり推進会議設置要綱

1. はじめに

明治6年8月8日、境島小学校は島村字前島の宗厳寺を仮校舎として設立されました。同校は、本市内で北小学校、あずま小学校に次いで3番目に古く、143年の歴史を誇る小学校でしたが、平成28年3月31日に閉校となりました。

閉校後速やかに、企画部企画調整課は政策会議を開催し、関係課により旧境島小学校校舎の有効活用に関して検討を始めました。検討過程では、表1に示したとおり「旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査」、「旧境島小学校校舎の有効活用に関する意見募集」及び「伊勢崎市境島村のまちづくりに関する効果検証モニター調査・ワークショップ」により意見聴取するとともに、これと並行して「伊勢崎市境島村まちづくり推進会議（以下「推進会議」という。）」*1を活用し、当該地域の住民代表と意見交換を重ねました。

また、旧境島小学校校舎の近隣に世界遺産田島弥平旧宅や田島弥平旧宅案内所があるという特殊な条件にも十分配慮する必要がありました。そのため、公共施設マネジメントの専門家として前橋工科大学工学部建築学科の堤洋樹准教授や観光の専門家として帝京大学経済学部観光経営学科の天下茂教授にも推進会議へ参画していただきながら、両氏による助言を踏まえて最終的に「旧境島小学校校舎の有効活用に関する検討結果報告書」がまとまりました。

このたび、市長から教育委員会に同報告書が提出されたことを受け、教育委員会では、同報告書を旧境島小学校校舎の有効活用を具現化するための計画書として位置づけました。今後は、旧境島小学校校舎の有効活用の基本的な考え方やこれに基づく有効活用の方向性により、市民の皆様の貴重な財産である旧境島小学校校舎の有効活用を進めます。

- *1：伊勢崎市境島村まちづくり推進会議は、田島弥平旧宅の世界遺産登録を踏まえて、地域住民と連携及び協働して田島弥平旧宅を活用した境島村まちづくりを総合的に推進するため、平成24年9月14日に設置されました。
- その後、推進会議では、さまざまな境島村の地域課題等について検討を行い、ハード面・ソフト面の両面から迅速な対応を図るとともに、平成27年3月には『境島村まちづくりビジョン』を策定し、このビジョンに基づくまちづくりを推進しています。

表1 旧境島小学校校舎の有効活用に関する検討経緯

| 年月日 | 内容 | 備考 |
|----------------------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 平成28年3月31日 (木) | 境島小学校が閉校 | |
| 平成28年8月16日 (火)～9月16日(金) | 旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査 | ・回収率72.2% |
| 平成28年10月28日 (金) | 平成28年度第2回伊勢崎市境島村まちづくり推進会議 | ・旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査結果報告書について意見交換 |

| | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|---|
| 平成28年11月21日 (月) | 伊勢崎市境島村のまちづくりに関する効果検証モニター調査・ワークショップ | ・参加者：帝京大学経済学部観光経営学科 学生7名 |
| 平成28年12月1日 (火)～12月31日 (土) | 旧境島小学校校舎の有効活用に関する意見募集 | ・旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査結果報告書を公開 ・意見提出12人 |
| 平成28年12月12日 (月) | 平成28年度第2回まちづくり講座において公共施設マネジメントの学習 | ・講師：前橋工科大学工学部建築学科 堤准教授 |
| 平成29年2月21日 (火) | 平成28年度第3回伊勢崎市境島村まちづくり推進会議 | ・旧境島小学校校舎の有効活用に関する意見募集結果及び本検討結果報告書(案)について意見交換 |
| 平成29年3月14日 (火) | 旧境島小学校校舎の有効活用に関する検討結果の決定 | |

2. 境島村及び平塚区（利根川南部）の概要

図2-1に示す境島村（新地区、新野新田区、立作区、北向区、西島前河原区）及び平塚区（利根川南部）の人口と世帯数は、平成28年8月1日現在、人口1,243人、世帯数471世帯（表2-1）となっています。

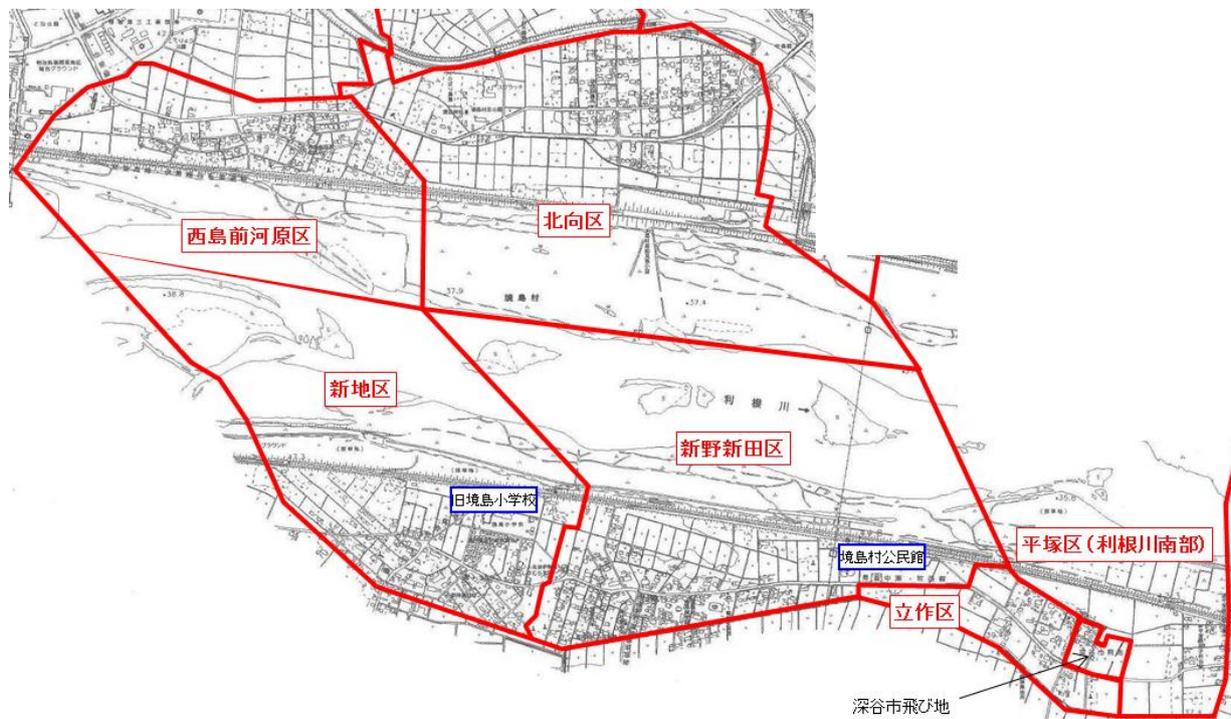


図2-1 行政区域図

表2-1 境島村及び平塚区（利根川南部）の人口と世帯数

平成28年8月1日現在

| 行政区名 | 人口 | | | 世帯数 |
|------------|-----|-----|-------|-----|
| | 男性 | 女性 | 計 | |
| 新地区 | 135 | 118 | 253 | 107 |
| 新野新田区 | 167 | 158 | 325 | 125 |
| 立作区 | 45 | 42 | 87 | 32 |
| 北向区 | 145 | 146 | 291 | 97 |
| 西島前河原区 | 121 | 126 | 247 | 92 |
| 平塚区(利根川南部) | 20 | 20 | 40 | 18 |
| [右岸側計] | 367 | 338 | 705 | 282 |
| [左岸側計] | 266 | 272 | 538 | 189 |
| 計 | 633 | 610 | 1,243 | 471 |

※外国人を除く

図2-2は、境島村及び平塚区（利根川南部）の男女別年齢構成区分一覧であり、男女ともに60～69歳がピークとなり、この年齢構成の割合も男性22.1%、女性20.7%と非常に高くなっています。

また、図2-3は、旧境島小学校校舎周辺の公共施設を示しており、旧境島小学校の敷地に隣接した公共施設としては、田島弥平旧宅案内所の機能を有する福祉交流館しまむらがあります。また、旧境島小学校校舎から約1km離れた場所には、境島村公民館があります。

これらの施設については、表2-2に示すとおり、福祉交流館しまむらが2026年（平成38年）、境島村公民館が2031年（平成43年）に法定耐用年数に達することから、中長期的には旧境島小学校校舎との統廃合や複合化についても検討していく必要があります。

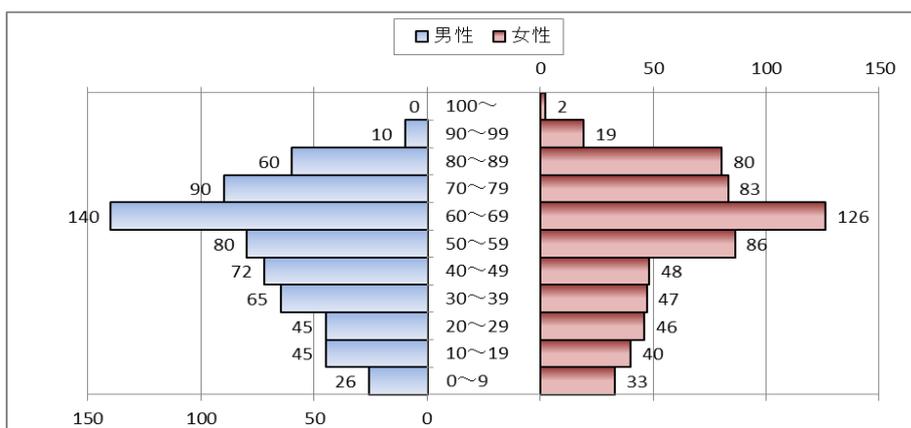


図2-2 男女別年齢構成区分一覧

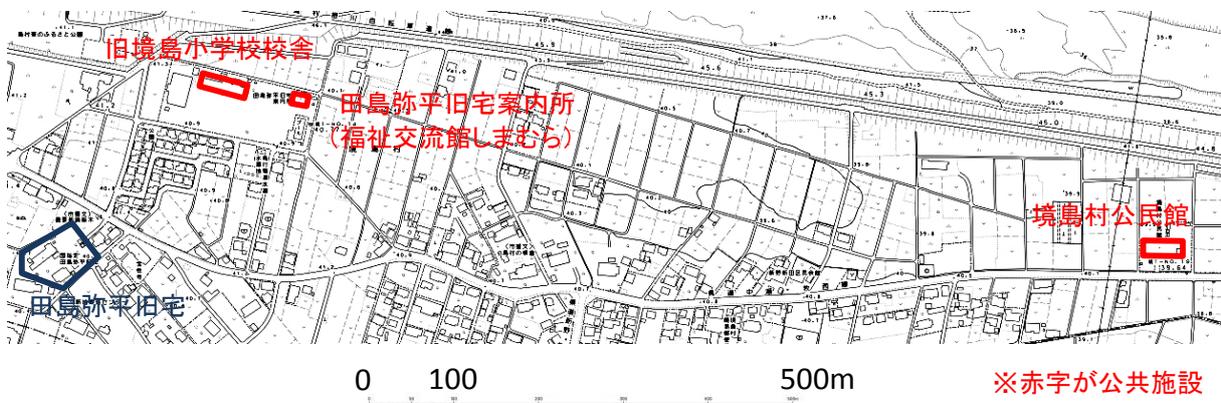


図2-3 旧境島小学校校舎周辺の公共施設

表2-2 公共施設の代表建物情報

| 施設名称 | 延床面積 (㎡) | ① 建築年度 (年) | 経過年数 (年) | ② 法定耐用年数 (年) | ①+② (年) | 階数 |
|-----------|----------|------------|----------|--------------|---------|----|
| 境島小学校 | 1901.00 | 1992 | 23 | 47 | 2039 | 2 |
| 福祉交流館しまむら | 122.97 | 2004 | 11 | 22 | 2026 | 1 |
| 境島村公民館 | 585.11 | 1993 | 22 | 38 | 2031 | 1 |

※伊勢崎市公共施設等総合管理計画(平成28年8月)に一部加筆

旧境島小学校校舎周辺の大きな特徴としては、図2-4に示すとおり、平成26年6月の「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録に伴い、その構成資産の田島弥平旧宅や田島弥平旧宅案内所への来訪者数が増加していることが挙げられます。

田島弥平旧宅案内所に訪れる来訪者や平成28年11月に実施した「伊勢崎市境島村のまちづくりに関する効果検証モニター調査・ワークショップ」の参加者からは、田島弥平旧宅案内所の改善や移設を求める意見も多く、以下のような課題があります。こうしたことから、田島弥平旧宅案内所の機能を旧境島小学校校舎に移設するとともに、田島弥平旧宅内桑場を有効に活用しながら、これらの課題を解決していくことが課題となっています。

【田島弥平旧宅案内所の課題】

- ・場所が分かりにくく、立ち寄りにくいため、分かりやすい場所に移設する
- ・施設が狭いため、少なくとも観光バス1台分の人数が収容できる施設に移設する
- ・より広い施設とすることで、展示内容を充実させるとともにこれらの温湿度の管理を行う
- ・事務室と展示や解説のための部屋を分けて、静かな部屋でDVDが鑑賞できるようにする
- ・周辺にお店が少ないため、休憩場所や物販機能を備えた場所とする
- ・資料の収蔵庫や整理室を確保する必要がある
- ・土足で出入りできるようにする必要がある
- ・体験できる施設としての活用を検討する

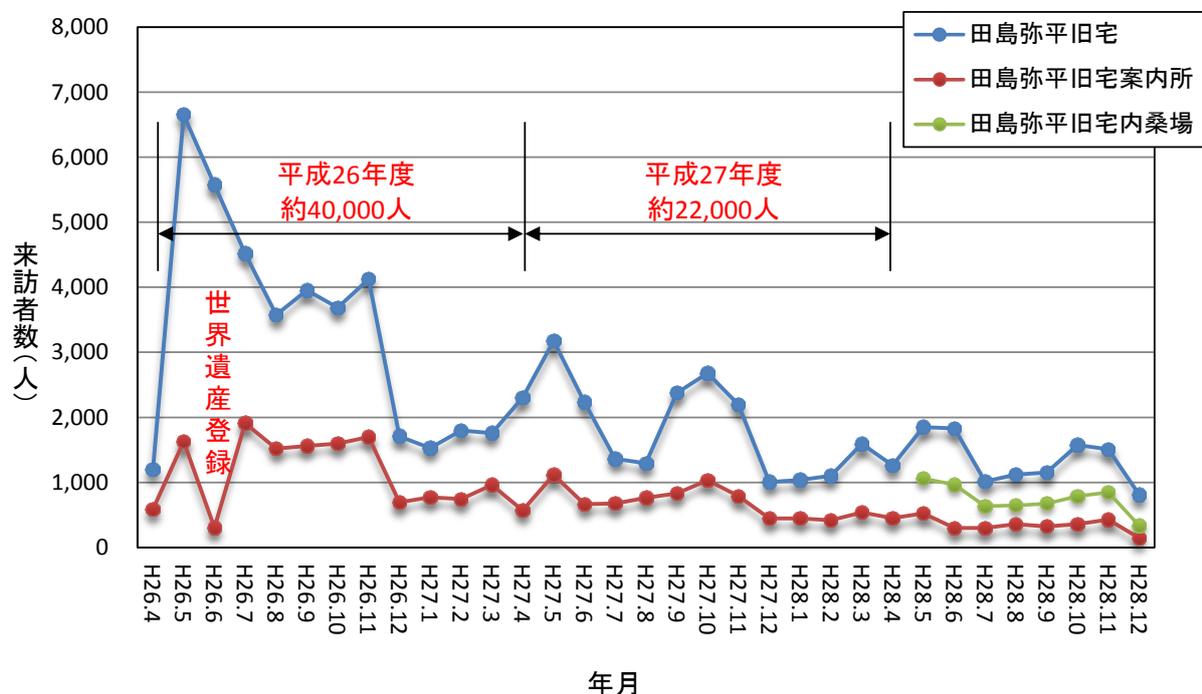


図2-4 来訪者数の推移

3. 旧境島小学校校舎の概要

旧境島小学校校舎の概要は、以下のとおりです。

【施設概要】

- ・代表所在地 伊勢崎市境島村 1968-40
- ・敷地面積 11,657.28 m²
- ・校舎延床面積 1,169 m²（体育館を除く）
- ・教室数 普通教室 6 教室、特別教室 5 教室

【立地的特徴】

- ・伊勢崎市と本庄市の市境、群馬県と埼玉県の県境の付近に位置しています。
- ・敷地に隣接して、田島弥平旧宅案内所（福祉交流館しまむら）があります。
- ・周辺には、世界遺産田島弥平旧宅があります。

【現在の活用状況】

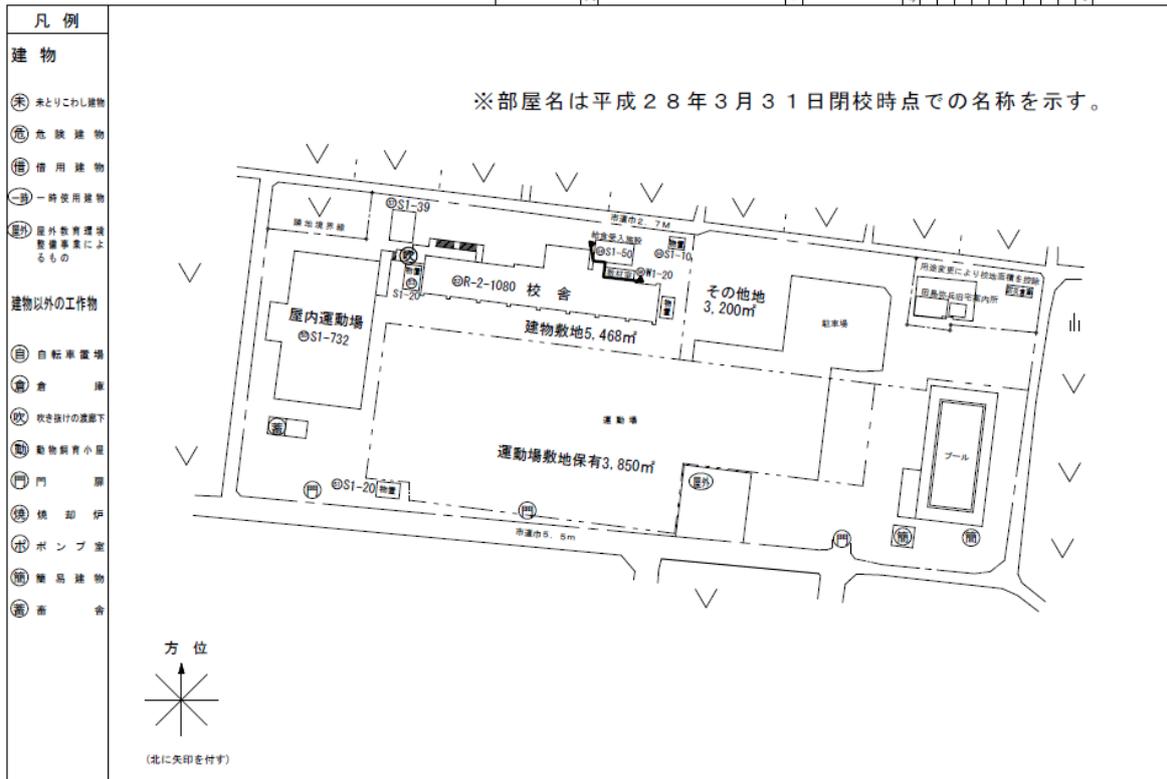
- ・1階の図書室（多目的室）を活用して、田島弥平旧宅の修繕に係る部材・資料が保管されています。
- ・空き教室を活用して、資料整理等が行われています。



写真3 旧境島小学校校舎

(平成28年度)

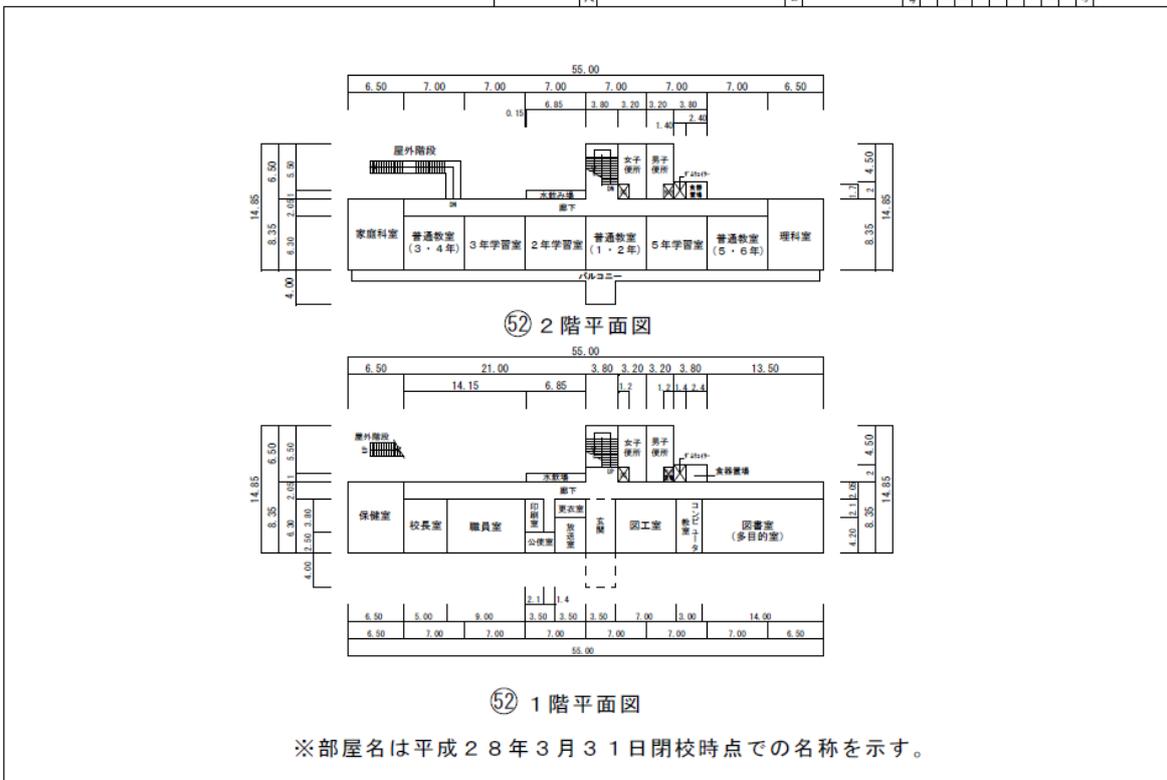
| | | | | | | | | | |
|-----|----|---------|----|-----------------|------|---------|-----|-------|------|
| 配置図 | 縮尺 | 1/1,000 | 学校 | 伊勢崎市立 旧境島小学校 | 校舎面積 | 1,020.4 | 体育館 | 192.3 | 5903 |
|-----|----|---------|----|-----------------|------|---------|-----|-------|------|



文部科学省
図3-1 旧境島小学校配置図

(平成28年度)

| | | | | | | | | | |
|-----|----|-------|----|-----------------|------|---------|-----|-------|------|
| 平面図 | 縮尺 | 1/500 | 学校 | 伊勢崎市立 旧境島小学校 | 校舎面積 | 1,020.4 | 体育館 | 192.3 | 5903 |
|-----|----|-------|----|-----------------|------|---------|-----|-------|------|



文部科学省
図3-2 旧境島小学校校舎平面図

4. 旧境島小学校校舎の有効活用の基本的な考え方

旧境島小学校校舎の有効活用については、世界遺産田島弥平旧宅への来訪者への解説や見学など、世界遺産や地域資源の価値を伝えていくための活用を考える必要があります。この必要性については、次ページ以降に示す「史跡田島弥平旧宅整備基本計画」や「世界遺産等歴史的資源の活用による地域再生計画」に記載があるほか、「旧境島小学校校舎に関する地域住民アンケート調査」や「旧境島小学校校舎の有効活用に関する意見募集」においても、これを支持する回答が寄せられました。

これらに的確に対応するとともに、周辺施設の法定耐用年数を考慮した統廃合や複合化も視野に入れ、短期、中期、長期の3つの時期に分けた有効活用の基本的な考え方を以下に示します。

(1) 短期の有効活用（概ね平成28年度から平成32年度までの5年間）

1階東側については、現状どおり田島弥平旧宅修繕に伴う部材・資料の保管場所として活用します。2階は、部材・資料以外のものの収蔵庫や整理室として活用します。また、1階西側については、来訪者が境島村の資料展示やDVD上映を楽しむことのできる休憩施設を含む（仮称）史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設としての活用を図ります。福祉交流館しまむら内に開設している田島弥平旧宅案内所の機能を（仮称）史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設に移転し、これにより福祉交流館しまむらが地域交流センターの機能を担うこととします。なお、（仮称）史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設では、田島弥平旧宅案内所にて無料貸し出しを行っているレンタサイクル事業を継続するとともにお土産品等の物販を行い、来訪者の利便性や周遊性を確保します。

(2) 中期の有効活用（概ね平成33年度から平成42年度までの10年間）

今後の田島弥平旧宅の修繕に伴って発生する部材・資料の量によっては、1階東側を引き続き田島弥平旧宅修繕に伴う部材・資料の保管場所として活用します。2階は、部材・資料以外のものの収蔵庫や整理室として活用します。1階西側については、引き続き（仮称）史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設としての活用を図りますが、田島弥平旧宅桑場の修繕が完了し、内部公開や内部展示の範囲が拡大する見込みであることから、これを踏まえた部分的な機能移転や規模縮小に努めます。

また、福祉交流館しまむらが平成38年に法定耐用年数に達することから、この施設の統廃合や複合化を視野に入れた旧境島小学校校舎の有効活用のあり方を再検討します。

(3) 長期の有効活用（概ね平成43年度から）

今後の田島弥平旧宅の修繕に伴って発生する部材・資料の量によっては、1階東側を引き続き田島弥平旧宅修繕に伴う部材・資料の保管場所として活用します。2階は、部材・資料以外のものの収蔵庫や整理室として活用します。1階西側については、引き続き（仮称）史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設としての活用を図りますが、史跡内建物の修繕やこれによる内部公開や内部展示の範囲拡大に合わせて、部分的な機能移転や規模縮小に努めます。

また、境島村公民館が平成43年に法定耐用年数に達することや旧境島小学校校舎そのものも平成51年に法定耐用年数に達することから、それまでの統廃合や複合化の状況を踏まえつつ、修繕や減築を含めた旧境島小学校校舎の有効活用のあり方を再検討します。

9-1. ガイダンス施設

所有者の住居である主屋をはじめ、内部の見学が常態化しない史跡であるため、ガイダンス施設の役割は大きい。見学者の史跡に対する理解を深めるため、ガイダンス施設の設置は必要であると考えられる。

ガイダンス施設の機能や内容としては以下の事項を検討している。

- ・ 田島弥平旧宅と島村の最大の特徴である「蚕種製造業」について解説を行う。
- ・ 蚕種製造業とともに発展した村全体の歴史、村の発展に寄与した田島弥平旧宅の歴史、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産であるため、構成資産について学べる施設にする。
- ・ 蚕の飼育、生糸を取る座繰り、機織り体験、繭クラフトなど、蚕糸業を体験できる施設にする。
- ・ 地域の住民と協働で展示、イベント、講座等を開催できる施設にする。

ガイダンス施設の設置場所については現在検討中であり、決定していないが、既存建物の利用を含めた、様々な可能性を視野に入れて検討を継続する。

場所の候補案としては、①平成 28 年 3 月をもって閉校となる境島小学校、②新地の集落内の空家などを活用、③史跡周辺の土地を利用の 3 つの案が考えられる。図 5-21 は、①の候補地である境島小学校と史跡および周辺便益施設との位置関係を示したものである。

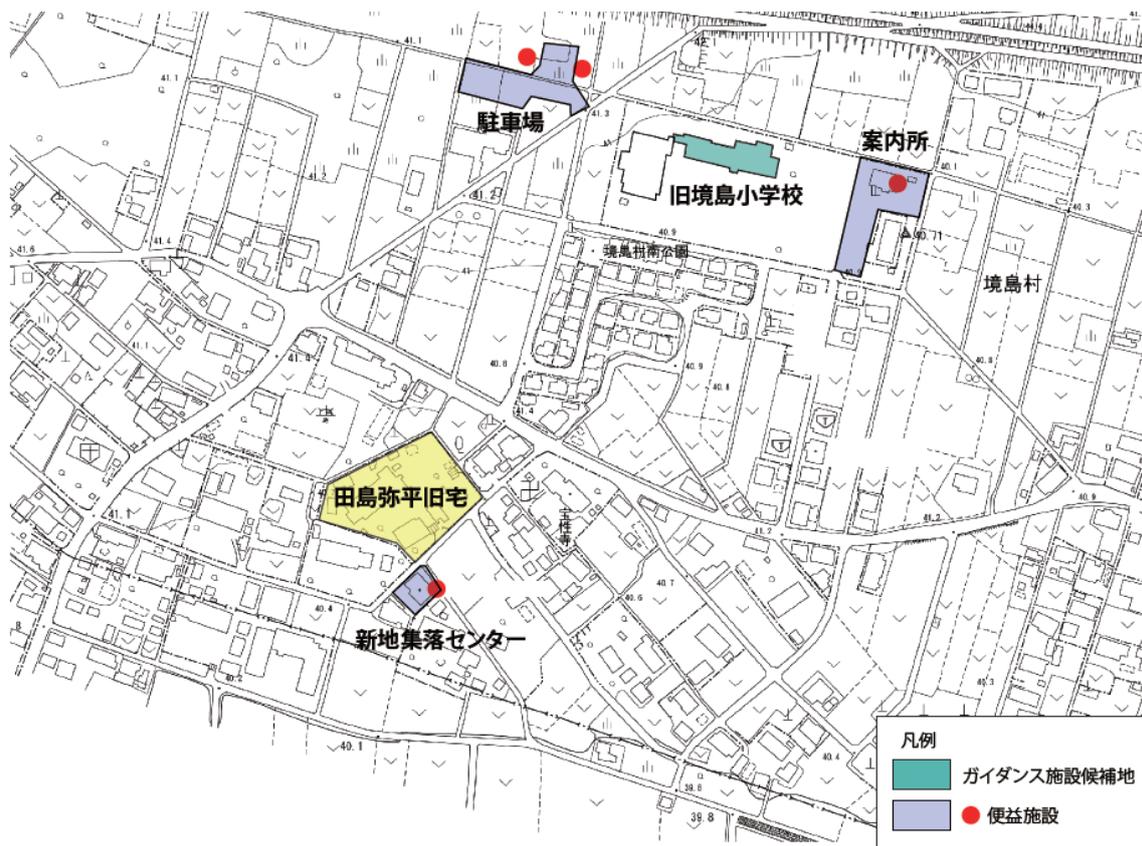


図 5-21 ガイダンス施設配置候補地図

出典：史跡田島弥平旧宅整備基本計画（平成 28 年 3 月）P. 84

イ 案内展示施設整備事業

事業概要：

現在の案内所は、ガイダンススペースが狭く、駐車場や田島弥平旧宅から遠いことから観光客が立ち寄らないことが多いなど、案内所として十分な機能が備わっていない。このため、田島弥平旧宅により近い場所へ、境地区を含めた伊勢崎市をPRするための資料展示スペースも備えた施設の整備を行うもの。

実施主体：

伊勢崎市

事業期間：

平成29年度～平成30年度を予定

(事業実施のための調整を行い、整い次第、速やかに着手する)

出典：世界遺産等歴史的資源の活用による地域再生計画（平成27年3月）P.7

5. 旧境島小学校校舎の有効活用の方向性

「4. 旧境島小学校校舎の有効活用の基本的な考え方」を踏まえて、旧境島小学校校舎の有効活用の方向性について、短期、中期、長期の平面図を以下に示します。

(1) 短期の有効活用（概ね平成28年度から平成32年度までの5年間）



田島弥平旧宅関連資料の収納庫・整理室

【概要】

- ・資料の収納庫
- ・資料の整理室



(仮称)史跡田島弥平旧宅ガイダンス施設

田島弥平旧宅の部材・資料の保管

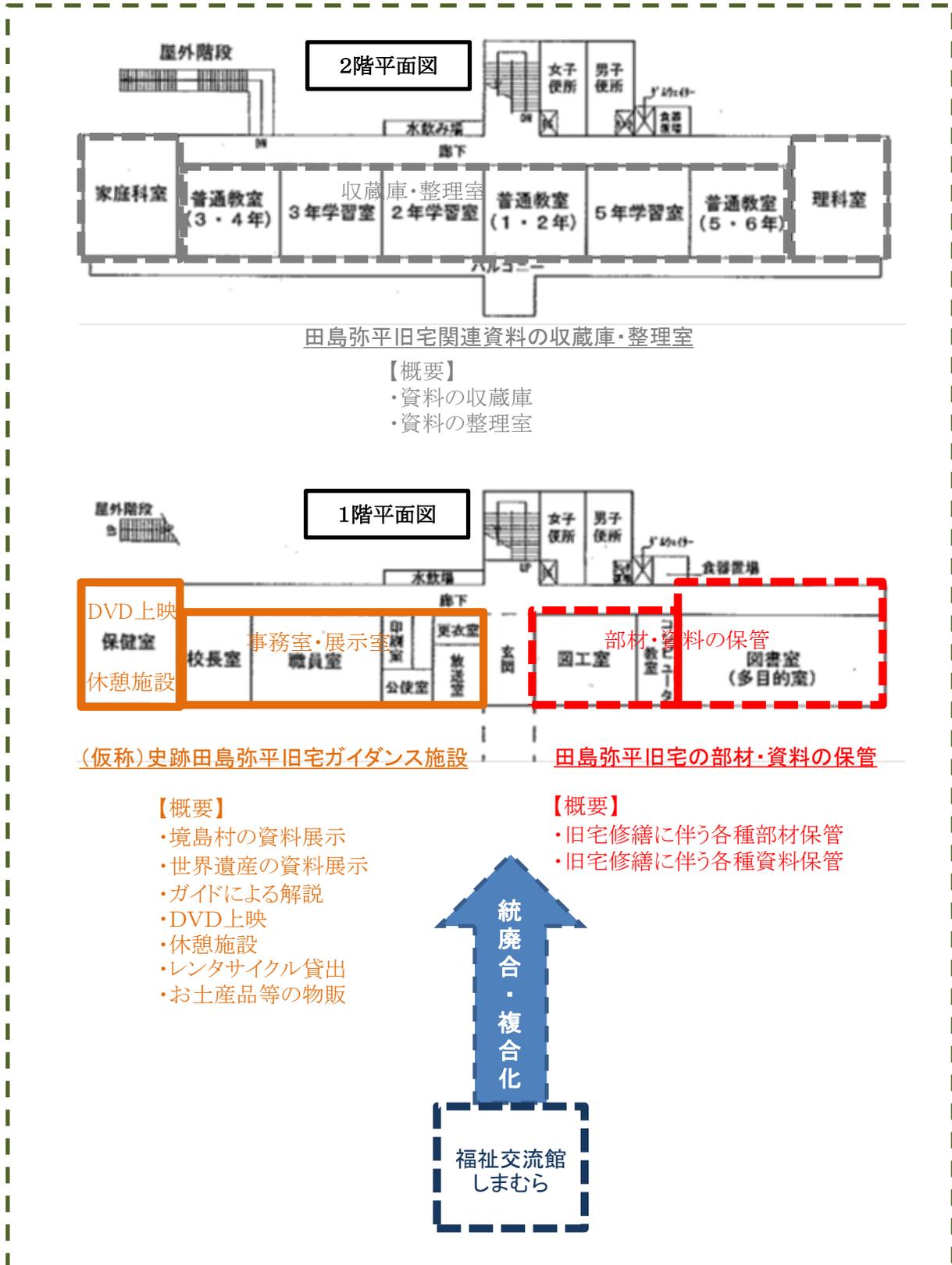
【概要】

- ・境島村の資料展示
- ・世界遺産の資料展示
- ・ガイドによる解説
- ・DVD上映
- ・休憩施設
- ・レンタサイクル貸出
- ・お土産品等の物販

【概要】

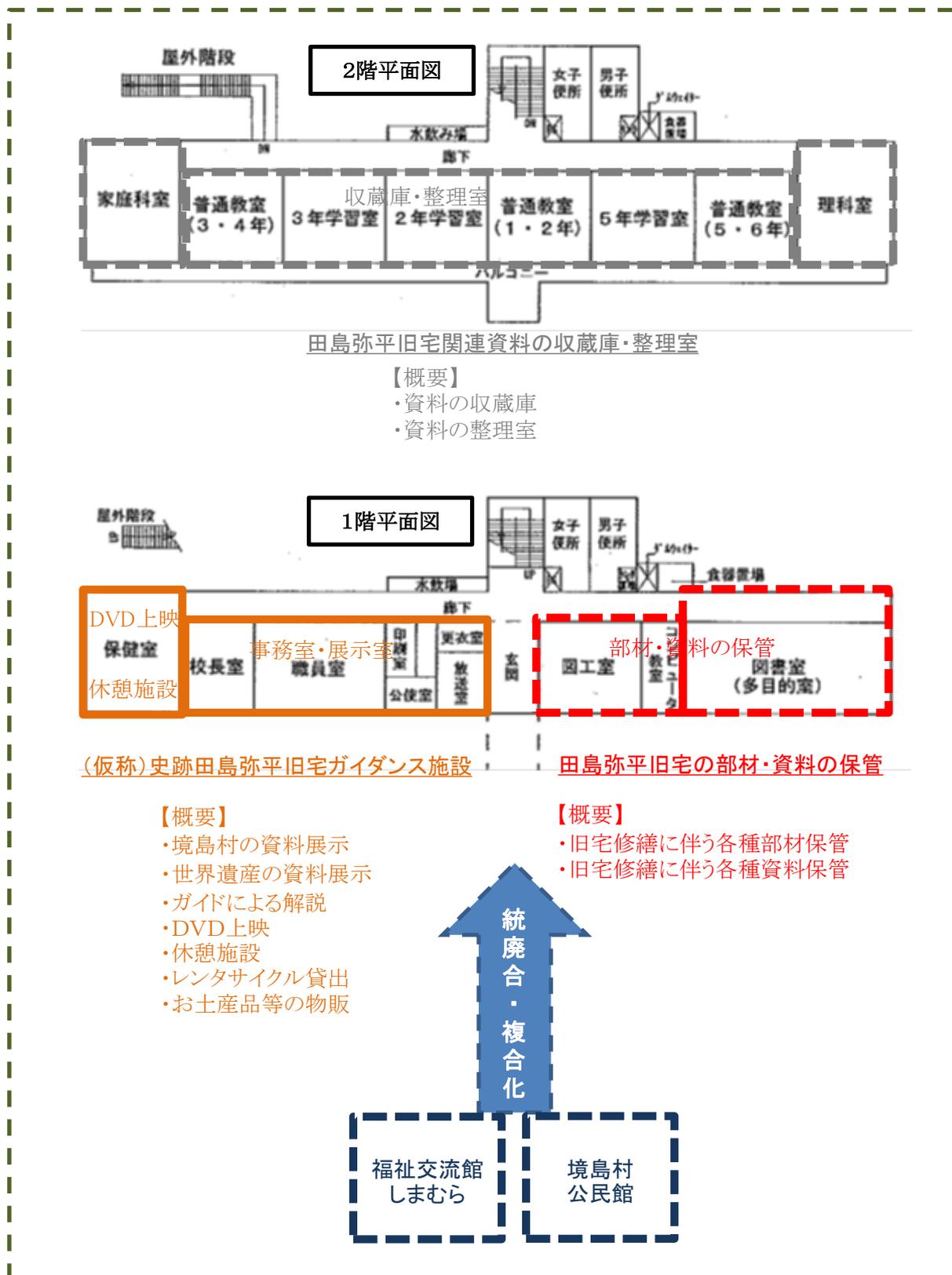
- ・旧宅修繕に伴う各種部材保管
- ・旧宅修繕に伴う各種資料保管

(2) 中期の有効活用（概ね平成33年度から平成42年度までの10年間）



※旧境島小学校校舎の有効活用のあり方の再検討(点線部分は未検討)

(3) 長期の有効活用（概ね平成43年度から）



※旧境島小学校校舎の有効活用のあり方の再検討(点線部分は未検討)